

これからの科学・技術研究 についての提言

藤田保健衛生大学・総合医科学研究所 宮川 剛

事業仕分け後に

研究者の

ソーシャルネットワークサービス
(=SNS ; インターネットでの交流の場)

にて議論が沸騰



「せっかくなので提言としてまとめ
発表してみよう」

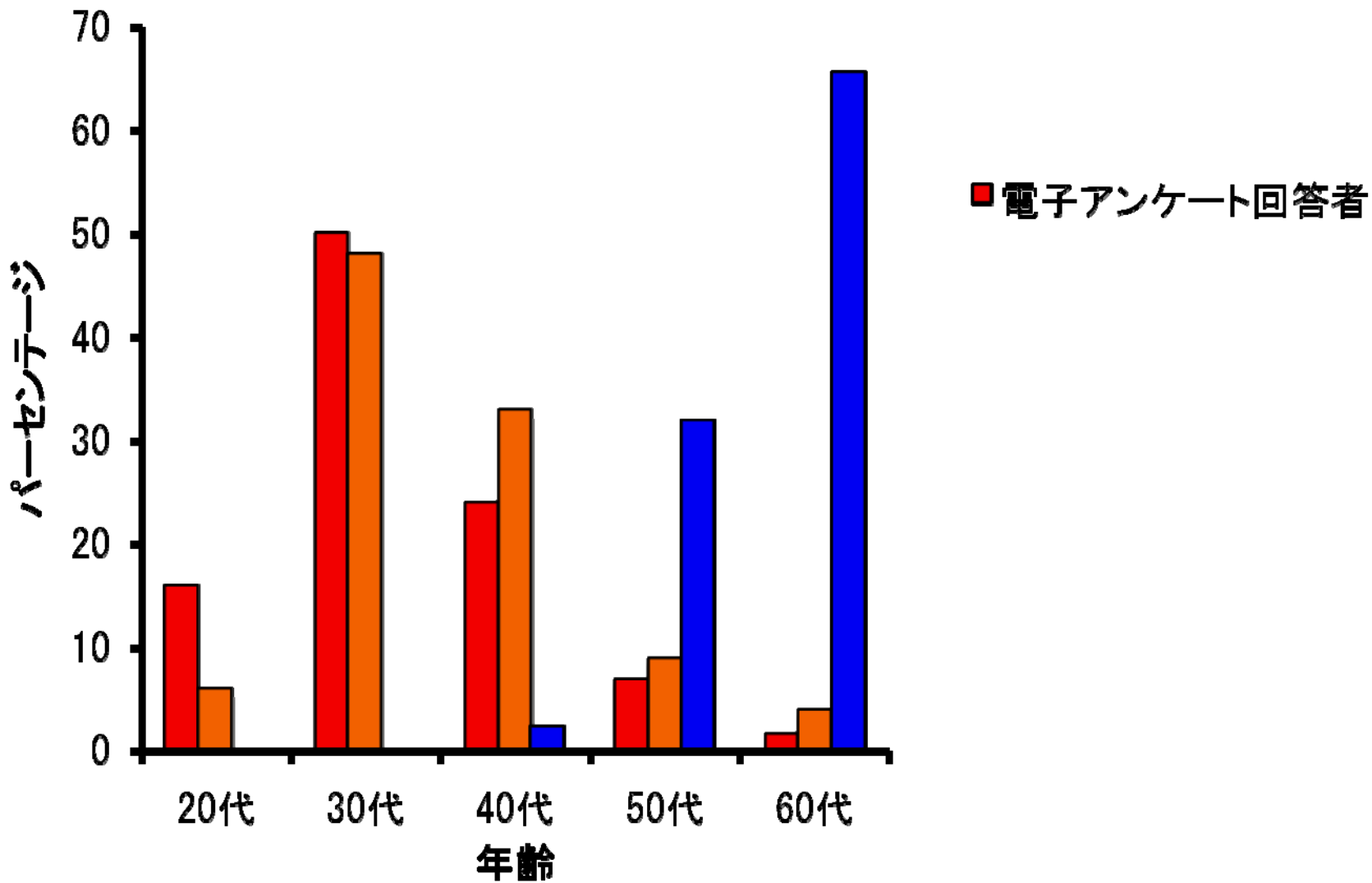


提言の経緯

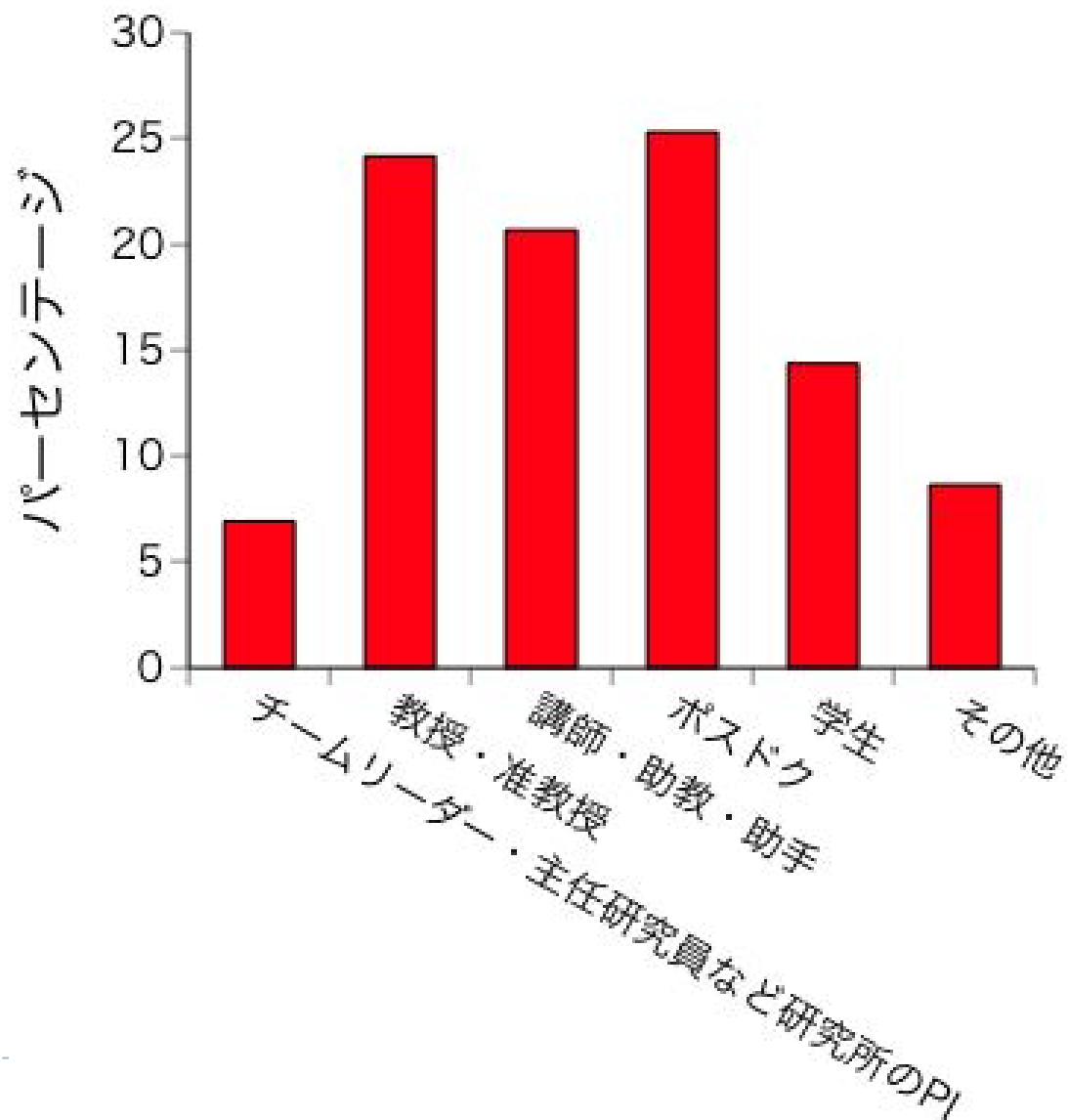
- ▶ SNS(メンバー1515名)内の「事業仕分けコミュニティ(43名)」にて30万字近くの議論
- ▶ SNSのメンバーを対象に30の電子アンケートを実施、170名以上からの回答
- ▶ 議論とアンケート結果をもとにSNSの「事業仕分けコミュニティ」が日本学術会議と総合科学技術会議へ向けて提言



電子アンケート回答者の年齢



電子アンケート回答者のポジション



IT技術を活用し、
現場の研究者の知恵を
ボトムアップから集約した
提言！



目次

表紙	1
「事業仕分け」を受けて総合科学技術会議へのお願い	2
これからの科学・技術研究についての提言	4
これからの科学・技術研究についての SNS 内での議論	7
I. ムダの排除と効率化	7
II. 研究費の制度のあり方	10
III. 研究者キャリアパス	12
IV. 研究成果の評価方法	15
V. 大学・研究機関のあり方	17
VI. 科学コミュニケーション	20
VII. 分野横断的な科学・技術研究者の組織の立ち上げ	22
これからの科学・技術研究についてのアンケート	24



「研究費が余っている」

≠

「研究費に無駄」9割
若手科学者ら実態反省

(新聞の切り抜き部分)

▶ むしろ研究費は足りていない!!

朝日新聞平成22年 2月15日朝刊1面

「研究費の無駄を生む
仕組みがある！」

=

「研究費に無駄」 9割
若手科学者ら実態反省

(新聞の切り抜き部分)

▶ むしろ研究費は足りていない!!

ムダを生む仕組みの王様

単年度予算制度

